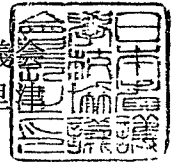




日看学協発 第 59 号  
平成 20 年 2 月 27 日

厚生労働省医政局看護課  
課長 野村 陽子 様

日本看護学校協議  
会長 山田 里



第 97 回看護師国家試験問題について

先般、実施されました第 97 回看護師国家試験に出題された問題の中で、別添  
のとおり一部不適切と思われる問題がありましたので、ご報告と、合格基準の  
ご配慮方をお願いいたします。

別 紙

午前

- 問題 58 看護過程における客観的情報はどれか。
1. 「状態が良くない」と看護師が感じたこと
  2. 患者が額に発汗しているという事実
  3. 「頭痛がする」と患者が書いた経過記録
  4. 「昨日はいつもと違う気がした」という家族の話

設問 3. の下線部は、表現が適切ではない。「患者の訴えを書いた経過記録」と表現すべきである。

- 問題 109 アルツハイマー病で正しいのはどれか。
1. 頭部 CT で多数の梗塞巣を認める。
  2. 発症年齢が遅いほど知的機能低下が著しい。
  3. 長期記憶よりも短期記憶の方が長く保たれる。
  4. 40 歳未満の発症を若年性アルツハイマー病という。

該当する答えがない。

- 問題 113 食道癌術後 10 日の患者。三分粥食が開始されたが、嚥下時のつかえ感を訴え、未消化の食物を嘔吐した。  
手術部位に生じている状態で最も考えられるのはどれか。
1. 浮腫
  2. 瘢痕化
  3. 縫合不全
  4. 逆流性食道炎

該当する答えがない。

- 問題 125 初めて採血を体験する 4 歳児。  
看護師が児に検査の説明をする効果で最も期待できるのはどれか。
1. 主体的に検査を臨める。
  2. 1 回で採血が終了する。
  3. 泣かないで検査を受ける。
  4. 医療者を嫌いにならない。

4 歳児の発達の違いは大きいため、1～4 全てが期待できる内容であるため  
該当する答えがない。

\* 設問下線部は、日本看護学校協議会で記したものである。